

あびこ型「地産地消」推進協議会

会報 第36号

2014年11月15日発行

*** 目次 ***

1. 総会の質問事項に対する回答
2. 協議会アンケート調査報告
3. 学校給食コーディネーターの紹介
4. 援農ボランティア情報交換会のまとめ
5. 援農ボランティア養成講座を開催中
6. 札幌市ボランティアによる視察
7. 今後の行事予定
8. 編集後記



7月5日(土)「採って食べよう!」例会と天ぷら



8月16日(土)「天王台ふれあい夏祭り」新鮮野菜販売



10月20日(月)「料理教室」
ハロウィン饅頭と新米赤飯



10月25・26日「川村学園女子大学祭」我孫子産野菜で作ったジャム

発行：あびこ型「地産地消」推進協議会 会長 米澤 外喜夫
住所：270-1155 我孫子市我孫子新田 22-4 (あびこん内)
(業務日 月・火・木) Tel 04-7128-7770 Fax 04-7128-7771
E-mail abikochisanchisyokyo@sky.plala.or.jp
URL <http://business4.plala.or.jp/chisan/>
(協議会ホームページではカラーでご覧いただけます)

1. 総会の質問事項に対する回答

あびこ型「地産地消」推進協議会会長 米澤外喜夫

さる5月17日に開催しました当協議会の第11期定期総会において、会員各位よりご発言のあった幾つかの事柄に関し、9月度並びに10月度の運営委員会で討議して得られた結果について、おおむね以下の通りお伝えいたします：

●（会員からのご発言）

会員の名簿を公開すべきではないか。

（運営委員会としての回答）

- ・当協議会会員各位についての、協議会として承知することが必要と考えられる個人的な諸情報（お名前、ご住所、電話番号など）は、現在、協議会事務局で集められ保管されております。これらは、会員各位に対して非公開ではありません。従って、会員各位で、これらをお知りになりたい方は、協議会事務局に出向き、事務局長にその旨を申し出ただけであればご覧いただけます。他方、非会員からの同趣旨の要請に対しては、原則としてお断りしております。
- ・運営委員会としては、上述の情報管理運営方針を継続することが適切と考えます。

●（会員からのご発言）

総会並びに運営委員会の議事録を公開してはどうか。

（運営委員会としての回答）

- ・現在、当協議会の「総会」においては、会合の終了後、その主要内容を「議事要旨」という形にまとめ、総会議長並びに2名の議事録署名人の検証を経た文書として事務局で保管しております。また「運営委員会」においては、総会同様に、会合の終了後、その主要内容を「議事要旨」という形にまとめ、次回会合冒頭での運営委員各位による検証を経た文書として事務局で保管しております。
- ・これらはいずれも、会員各位に対して非公開ではありません。従って、会員各位で、その内容をお知りになりたい方は、協議会事務局に出向き、事務局長にその旨を申し出ただけであればご覧いただけます。他方、非会員からの同趣旨の要請に対しては、原則としてお断りしております。
- ・運営委員会としては、上述の情報管理運営方針を継続することが適切と考えます。

●（会員からのご発言）

会則上の「会員」と「構成員」の語は、もっと厳密に使い分けられるべきではないか。

（運営委員会としての回答）

- ・前回総会での本件に関する遣り取りを振り返りますと、論点は、「会員」並びに「構成員」という単語の、「会則」上の使用方法の適否にあったと思われます。これによって、現行の「会則」各条の意味内容や、その全体構成が歪められているとは思われません。
- ・従って運営委員会としては、現行の条文表現を維持することが適切と考えます。将来、協議会の運営において、本件論点に関わる具体的な問題が発生する場合には、改めて再検討したいと考えます。

●（会員からのご発言）

事務局長の定義について、何も書かれてはいない。

（運営委員会としての回答）

- ・「事務局長」という職務に関しては、当協議会の性格が任意団体であることや、その諸活動がボランティアの皆さんによって担われている状況などを念頭に、前回総会における「会則」の改定では必要と思われる最小限の内容に言及しました。
- ・運営委員会としては、当面、現行の表現を維持しながら、その変更が必要と思われる状況が生じる場合には、改めて再検討したいと考えます。

●（会員からのご発言）

会員になったら必ずどれかの部会に所属してもらおうという仕組みを考えたらどうか。

（運営委員会としての回答）

- ・当協議会の諸活動は、ボランティアの精神に賛同して参加して下さる皆様のご努力によって成立しており、そして、会員各位には様々に異なるご事情がおりと思います。
- ・従って運営委員会としては、入会時に「部会」への所属を強制するような方法が適当とは考えません。会員各位の個別のご事情やお考えに即して、自主的に「部会」活動に参加して下さるよう、促し支援する努力を続けることが大切と考えます。

2. 協議会アンケート調査報告

総務部会長 白澤幸雄

この度のアンケート調査は、会員の皆様に現状の協議会活動を知って頂くため各部会の活動状況報告を添付し、ご理解を頂きより多くの部会活動並びに各種イベントにご協力頂けることを趣旨として、実施させていただきましたのでご報告致します。

1.調査対象者 一般会員の内、援農ボランティア登録会員、並びに協議会の実行委員等にて参加をして頂いている方を除いた一般会員の方を対象としました。

2.調査方法 従来のアンケート方式ではなく、個別に聞き取りをする面談方式として、49名の方に調査を実施しました。

3.調査期間 平成26年7月22日から平成26年8月31日

4.アンケート回答率

調査対象者：49名 回答者：40名 回答率：81.6%

5.部会活動への参加意向

参加、興味あり：23名 不参加：17名

6.アンケート調査内容報告

Q1. 協議会会員になったきっかけは何ですか。（選択1つ）

- | | |
|----------------------|-----|
| 1. 知人に勧められて | 13件 |
| 2. 地産地消活動に興味があったため | 12件 |
| 3. 農業ボランティアに参加したため | 5件 |
| 4. 地域社会に貢献したかったため | 4件 |
| 5. 生きがいづくりのため | 2件 |
| 6. 仲間づくりのため | 1件 |
| その他 | 3件 |
| ① 自分の家が農業を行っているため | |
| ② クラインガルデンを推進するため | |
| ③ 協議会が始まる前から参加していたため | |

Q2. 協議会の活動を何で知りましたか。（選択1つ）

- | | |
|-------------|-----|
| 1. 協議会会員の紹介 | 16件 |
| 2. 我孫子市広報 | 10件 |
| 3. 行政の紹介 | 3件 |
| 3. 協議会のイベント | 3件 |

- 3. 援農ボランティアの知人紹介 3 件
- 6. 我孫子市ホームページ 0 件
- 6. 協議会ホームページ 0 件
- その他 5 件
- ① 協議会設立の議論を通して
- ② 発足時に援農ボランティア制度に係わった
- ③ 手賀沼トラストと農教室を通して
- ④ 元我孫子市あゆみの郷公社に関与していた等

Q3. 協議会活動をお読みになって、どの部会活動に興味をお持ちになりましたか、参加頂ける部会に○をつけて下さい。(複数可)

- 1. 食育交流部会 9 件
- 2. エコ農産物普及推進部会 5 件
- 3. 販路拡大支援部会 4 件
- 3. 援農ボランティア部会 4 件
- 3. 総務部会 (イベント参加含む) 4 件
- 6. 学校給食支援部会 3 件
- 7. 広報部会 1 件

Q4. 協議会をより良い活動にするためには何を希望しますか。(複数可)

- 1. 協議会活動の市民向けの PR 機会を設ける 15 件
- 2. 地産地消活動の機会を増やす 12 件
- 3. 会員同士の交流を増やす 6 件
- その他 1 件
- ① 協議会の中に市内家庭菜園に参加している方の、連携交流の場を持ってもらいたい

ご協力ありがとうございました。調査結果を踏まえまして、協議会活動に興味・参加を頂ける方には、それぞれの部長さんから、ご連絡を取らせて頂きご協力を勧めております。協議会をより良い活動にするため、皆様のご希望に沿うよう、検討して参りますので宜しくお願いします。

3. 学校給食コーディネーターの紹介

1. 略歴、趣味など 2. 申し込みの動機、抱負など

あぐみ

折越 揚身 さん

- 1. 略歴 長く航空業界で勤務しておりました。
- 趣味 読書・散策です。
- 2. 動機 地域との拘わりを深めたいと思いました。
- 抱負 日々新しい人達との出会い、新鮮な野菜に触れ気持ちを新たに充実した毎日を送っております。今後ともよろしくお願いします。



福本 定一 さん

- 1. 出身地 四国の愛媛県伊予市、瀬戸内海の温暖な所でミカン農家です。
- 経歴 東京都職員を定年退職しました。
- 趣味 マラソン・健康維持の為、妻と毎日手賀沼周辺を走ってます。他には、ゴルフ・そば打ち・マジックです。
- 2. 動機 地元の為に役に立つ活動をしたい。
- 抱負 学校給食と生産農家の供給がスムーズに推進できるよう努力したい。皆様のご指導をお願いします。



4. 援農ボランティア情報交換会のまとめ

援農ボランティア部会長 三宅輝夫



受賞者お喜びの皆さん

- 日時 平成26年8月9日（土）
- 場所 天王台 居酒屋「やまびこ」
- 参加者 24名（援ボ、受入農家）
- 表彰者のお名前(4名＝1期生)
写真=左から、
玉造美枝さん、今崎寛子さん、
新村武司さん、萬木勇さん



表彰状授与

平成26年度の援農ボランティア部会主催の「情報交換会」で、10年活動された1期生の 今崎寛子さん、玉造美枝さん、新村武司さん、萬木勇さん、4名の方々が永年表彰され、米澤会長から表彰状と副賞が授与されました。席上、受賞者の皆さんから、喜びのご挨拶をいただきました。この席にご参加されなかった方のために受賞者の皆さんにアンケートを行いました。紙面で受賞者の「ご感想・声」をご紹介します。

アンケート 4 項目

- ①今回 10 年表彰を受けてのご感想は？
- ②援ボ 10 年間の活動のなかで特に印象に残ったことは？
- ③援ボ「仲間」に伝えたいことは？
- ④その他（自由記載）



情報交換風景

今崎寛子さん

①長いようで短かった 10 年、これも農家の方、家族、また援ボの皆様のご協力のもとここまでこられ、その上“情報交換会”の席で表彰までして頂き、この上なく喜んでおります。頑張った甲斐がございます。ありがとうございました。②鈴木誠さん宅の作業時 NHK の取材に“首都圏ネットワーク”で放映され、近所の方に“でていた”と言われた事。農家からの帰りに自転車がパンクして家まで送っていただき、かえってご迷惑をおかけした事。作業時ハサミが足にささり病院にお世話になった事。③体を動かすことが好きな事が前提になりますが太陽をあびる事によりビタミン D ができビタミン C の吸収を良くし、新鮮なお野菜を頂き体の中に取り込む。外から中にと健康を頂くのも最高です。自分の好きな事で務め先があるのは幸せ！自分にあつた活動の仕方健康を頂きましょう、休憩の時間にこういうお話もできるのも楽しみのひとつです。

玉造美枝さん

①このたびは思いがけない感謝状にびっくりです！ありがとうございました。長いような短いようなアツという間の10年間でした。ここまでこれましたのも農家の方々や、消費者との楽しい出会いがあり繋がりを持つことができたこと。また関係者の方々の温かいご支援があったからこそと感謝致しております。何事も地道にコツコツと続ける事の大切さを実感しております。②初めての援農は岡発戸の鈴木さんでトウモロコシの苗の定植をしました。当時（平成16年）アビスタ前での販売ボランティアをしていましたのでその時のトウモロコシが立派に実って販売台に並べられた時は感無量でした。種まきから食卓に上がる迄には実に多くのこまごまとした作業があるのには驚きました。お蔭様で物語性をもってお客様に接することが出来ました。③新鮮で安全安心なエコ農産物を求めるのであれば、農家だけに押しつけるのではなく、農家を応援し、サポートしていかなければならないということで、援農制度がスタートしたように思います。人それぞれに関わり方はいろいろあると思いますが、達すべき目標をかかげて前進していけたらと思います。また会員同士の横の繋がりを考えて、楽しみながら活動できることを願っております。④あびこ型「地産地消」と称しているのであれば、他市にはない「あびこ独自の認定をする」なり、「ブランド化」を進めるべきではないでしょうか。

萬木 勇さん

①予期していなかったので感激です。有難うございました。②当我孫子はひたすら「寝に帰る」だけの場所でしたが、援ボを通じて新しい友達が出来、それにともない親しい飲み屋も増えてきました。また色々の農場でいろいろな作業を楽しんでいるうちに、10年が過ぎたといった感じです。お陰様で住み心地よい我孫子の住民になれたのではないかと満足しております。③農作業でのミスは許されません。急いで作業をするのではなく、丁寧に作業することが大切ではないでしょうか。

新村武司さん

①私は、退官は61歳で、それから10年がたち、自分自身も、よくもったなと思います。皆様のお力添えによりできたと思います。ちょうど中弛みの時期に表彰されまして、感謝申し上げます。②市の方も、初めてということで当初は、力の入れ方も大分入っていたように思います。私は我孫子の活性化は「商業と農業の元気を取り戻すこと」と思いますが、受け入れ農家も足腰が弱いので、私たちの力で少しでも活性化するように頑張ります。③仲間になった以上は退会をしないで欲しい。出る回数を減らしてでも続けて欲しい。2度と体験できないことですので、例えば野菜のできる過程が、また無農薬野菜の難しさ等も勉強できますので、頑張っって欲しいと思います。④私も受け入れ農家さんの理解と温かい心のおかげさまで続けることができました。今後とも細々ではございますが、継続したいと思います。私もいまでは200坪の地主になりました。先輩農家さんを見習い大きく前に進みたいと思います。

5. 援農ボランティア養成講座を開催中

援農ボランティア部会 植木康雄

第11期生養成講座は10月11日(土)開講式でスタートしました。(講座は6回実施予定…農家実習4回、座学2回)

今年の受講生は応募者が10名。他に、援農体験者2名を含めた計12名の皆さんです。内訳は男性が11名・女性が1名。12名の内、我孫子市外からは5名の方が受講中です。

今年も受入農家さんの協力を得て実習作業を行い、座学を含めた6回の講座中4回の受講で修了証書が授与されます。(援農体験者は2回の参加で授与)

開講式では我孫子市農政課の徳本課長から「我孫子の農業と農政について」の講演を頂き、知見を広めることが出来ました。

11月22日(土)の閉講式(あびこん農業まつり会場で実施予定)修了後、受講生は12月からボランティア活動を開始します。諸先輩ボランティアの皆さん、ご支援を宜しくお願いします。



6. 札幌市ボランティアによる視察

援農ボランティア部会 植木康雄



ポロの会の皆さんの研修風景

平成26年10月23日(木)、札幌市「ふぞろいの北の野菜と果物を応援する会」(通称:ポロの会、南信子代表)より、当協議会援農ボランティアの取り組み等の研修目的で7名の方々(男3名、女4名)が視察に来訪されました。

「ポロの会」は、平成22年度から主に札幌市民を対象に「援農ボランティア」を募集し、南区の農家や果樹園の手伝いを実施中との事です。

我孫子市会議室にて約2時間、①米澤会長の挨拶と当協議会の活動紹介、②三宅ボランティア部会長から協議会会則・援

農ボランティア活動実施要綱やボランティア養成講座などの詳細な説明をしました。その後、③ポロの会の皆さんとの意見交換が率直かつ活発に行われました。最後にポロの会南代表より「本日の視察における当協議会の懇切丁寧な説明と温かなご配慮に対し感謝申し上げます」との謝辞を頂きました。

鈴木誠農園で露地見学

次に、ポロの会の皆さんは、④ちばエコ農産物栽培を積極的に推進中の鈴木誠農園(露地畑)に行き、カブ・ホウレン草などの作物状況の説明・見学を行いました。
短時間の研修ながら密度の濃い視察を終えて我孫子を後にされました。



7. 今後の行事予定

11月15日(土)	「採って食べよう!秋のお野菜で芋煮会」	荒井農園	食育交流部会
11月22日(土)	「農業まつり」	あびこん	工農・販路拡大
12月6日(土)	「年末のつどい(忘年会)」	けやきプラザ	地産地消推進協議会
12月13日(土)	「あびこエコマルシェ」	下記参照	工農・販路拡大
1月17日(土)	「ちびっ子餅つき大会2015」	あびこん	地産地消推進協議会
2月14・15日	第39回消費生活展 全体テーマ「子どもたちに安全・安心を!〜見て・知って・確かめて〜」	我孫子市民プラザ	広報部会

☆お知らせ①: あびこエコマルシェ開催! エコ農産物の販売等を行います。ぜひ、ご参加下さい。

日時: 12月13日(土) 10:00~14:00

場所: 我孫子1丁目 グランレジデンス エントランス前を予定

エコを考える一日にしませんか?

☆お知らせ②: 12月~3月は援農ボランティアの冬時間として、午後の活動時間帯は0時45分から4時までとなりますので、ご注意ください。

「手賀沼親水広場」移譲に関する説明会

去る10月18日(土)、けやきプラザ8階第一会議室にて、「手賀沼親水広場」移譲に関する説明会が執り行われ、徳本農政課長、鷹屋手賀沼課長、協議会会員など、計25名が出席しました。最初に徳本農政課長から説明があり、続いて約60分間の質疑応答が行われました。詳細につきましては『「手賀沼親水広場」移譲に関する説明会並びにアンケート調査報告』をご一読下さい。

8. 編集後記

10月には「援農ボランティア活動事業実施要綱」、「援農ボランティア心得」、「受け入れ農家の心得」が配布されたほか、「手賀沼親水広場」移譲に関する説明会も開催されるなど、我孫子の農業を取り巻く環境で様々な取り組みが行われています。多くの人の努力や熱意による変化の風を感じながら、これからも我孫子の農業を応援するために援農ボランティアやイベント参加を通じて自分にできることを考えていきたいと思えます。(川)

